

# 「祖父母が繋いだ農業で地元を守る」



西村 充 (35歳) Uターン  
(大洲市)

## 1 就農の動機・理由

農業は、幼いころから身近な存在であり、いずれは地元で就農したいとずっと考えていた。高校卒業後、一般企業に就職していたが、転勤も多く、家族への負担なども増える中、年齢を重ねるうちに「家族の時間を大切にできる」、「自らの裁量を最大限活かせる」職業として、農業への魅力が高まっていた。

市役所担当者とは就農後の支援策などについて夫婦で話を聞く中で、就農するなら少しでも早いうちにと決意し、昨年就農した。

## ○主要農業機械

管理機	1台
運搬車	1台
動力噴霧機	1台
乾燥機	1台
チップパー	1台

## 3 あしあと

### (1) 就農までの主な経歴

出身地 愛媛県大洲市  
職歴 会社勤務 (医療機器関係)  
就農年月 令和2年1月

### (2) 就農時の思い

農外からの就農で右も左も分からず大きな不安もあったが、祖母の高齢化もあり、自分自身で農地を守っていくことで地元の農業を維持していこうと考えていた。

## 2 農業経営の概要

### ○経営の展開

項目	就農時の経営 (令和2年)	現在の経営 (令和3年)	将来の経営 (令和6年)
労働力	男1人(本人) 女1人(妻)	男1人(本人) 女1人(妻)	男1人(本人) 女1人(妻)
経営耕地	樹園地 68a	樹園地 94a	樹園地 94a
経営内容	キウイ 38a カンキツ 30a	キウイ 38a カンキツ 30a クリ 26a	キウイ 38a カンキツ 30a クリ 26a

## 4 就農時の取り組み

### (1) 技術の習得

祖母から見聞きし技術の習得に努めている。農外からの就農で研修経験がないため、日々、参考書やインターネットを活用して農業の基礎となる知識習得に努めている。

また、JAの部会に加入し、講習会などで先輩農家の方から話を聞き、技術の習得を行っている。

### ○農業用施設

果樹棚	38a
倉庫	3棟

## (2) 資金の準備

農業次世代人材投資事業（経営開始型）を活用している。

## (3) 農地・住宅の確保

農地・住宅ともに祖父からの継承で確保した。

## (4) その他苦労したこと

ベテラン農家は経験や勘をもとに作業していることが多く、目に見えない知識・技術を理解するのに苦労している。分からないことは、その度に調べたり聞いたりして自分が納得できるまで突き詰め、自分の知識にできるよう努めている。

また、園地が山間部で鳥獣被害が多く就農当初は苦慮したが、ワイヤーメッシュ設置など様々な鳥獣害対策を講じたことで、被害の軽減につながっている。

## 5 農業経営の特徴

キウイをメインに繁忙期が重ならないカンキツ、クリを栽培する果樹経営に取り組んでいる。現在は、主にJAへの出荷を行っているが、将来的にはインターネット販売にも取り組み、所得の拡大を図っていききたい。

## 6 これからの夢

今後、高齢化で地域の担い手が減ることが予想される中で、可能な限り機械化による省力化を進め、地域の農地を集積、経営規模の拡大を図っていききたい。

将来は法人化を目指し、若い人に農業の魅力を発信していくとともに、長浜地域の農業発展に貢献していききたい。

## 7 成功したキーポイント

祖父から経営基盤を継承できたこと、

身近に技術を学べる祖母がいたことがプラスになった。

分からないことは、自分が納得するまで追求する姿勢が大切だと思う。

## 8 就農を目指す方へのアドバイス

自分が将来どんな農業をしたいかをイメージして、5年間の経営計画をきちんと立て、1年ごとに収量や売上など数値をチェックする。良かった点、上手くいかなかった点の洗い出しを行い、毎年改善を図っていくことが重要だと思います。

### ○ 指導機関からのひとこと

西村さんはご夫婦で就農され、お二方とも将来のビジョンをしっかり持ち、日々努力されています。会社員時代の経験を活かし、何事にも徹底して取り組まれる姿勢が非常に頼もしいです。

今後の更なる経営発展はもちろんのこと、将来の地域リーダーとして活躍することを期待しています。

### 執筆機関

南予地方局産業経済部八幡浜支局地域農業育成室  
大洲農業指導班

電話番号 0893-24-4125



キウイフルーツの剪定作業